

2月12日（木）

備えあれば 憂いなし

～5年防災学習～

葛城市の防災士のみなさんのご協力を得て、
5年生が防災学習を行いました。

今回の大きな柱は、**「自分で考え、体験を通して学ぶ防災」**です。

前は、春に自分たちで田植えをし、秋に稲刈りをした「もち米」を使い、ジプロックに入れてお湯で炊く簡易炊飯を体験しました。電気やガスが使えない状況でも、工夫すれば温かいご飯を食べることができることを実感しました。

そして今回は、防災グッズについて学習しました。数多くある防災用品の中から、「自分なら何を持っていくか」を一人一人が考え、必要だと思う物を選んでリュックに詰めました。選んだ理由を交流する中で、「命を守るために何が本当に必要か」を真剣に考える姿が見られました。

さらに、ダンボールで作った簡易ベッドや簡易トイレも体験しました。実際に横になってみたり、仕組みを確かめたりすることで、避難所生活の現実にも目を向けることができました。

災害はいつ起こるか分かりません。しかし、体験を通して学んだことは、必ず子どもたちの力になります。今回の研修を通して、「備えることの大切さ」と「自分で考えて行動する力」を育む貴重な時間となりました。



2月12日(木)

